

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		ハートランド平尾台株式会社
会社概要	会 社 の 事 業 概 要	1 遊園地及びテーマパークの経営 2 宿泊施設、観光果樹園等の観光関連施設の経営 3 イベントの企画及び運営に関する事業 4 旅行業法に基づく旅行業 ほか
	資 本 金 額	91,200 千円
	本市の出資額	39,902 千円
	本市の出資割合	24.18 %
	代 表 取 締 役	吉本 圭介
	従 業 員 数	13 人
営 業 報 告 の 要 点		令和7年度は、GW期間中の目玉イベントとして旧スペースワールドキャラクターの「ラッキーヴィッキーショー」の開催、キッズスペース前広場に新たに日陰施設の増設、10月の土日4日間夜限定でペット(犬)と一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」の開催など、利用者サービスの向上に取り組んだ。 また、ソフト面を工夫し、トゥクトゥク周遊ガイドツアー等の新たな事業を開始するとともに、業務委託の一部内製化や閑散期のパート社員配置の効率化等により支出の削減に努めたことにより、当期純利益は3期ぶりの黒字となった。
収支状況 の要点	当 期 純 利 益	1,858 千円
	前年度との比較	○営業利益は、8,790 千円で、 前期比 21,929 千円(166.9%)の増となった。 ○経常利益は、2,187 千円で、 前期比 15,839 千円(116.0%)の増となった。 ○当期純利益は、1,858 千円で、 前期比 15,863 千円(113.3%)の増となった。

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

ハートランド平尾台株式会社の経営情報について

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

ア 事業の経過

当社は、「平尾台の自然環境保全及び平尾台上住民の生活並びに産業活動の均衡ある発展に貢献するとともに、都市及び近郊住民が心身ともにリフレッシュできる場を提供する。」ことを設立の目的にしています。

主たる事業として、北九州市の「北九州市平尾台自然の郷（以下「ソラランド」という。）」及び福岡県の「福岡県平尾台自然観察センター（以下「センター」という。）」の指定管理業務を受託しています。なお、令和7年度は、ソラランドが5回目の受託契約(令和11年度までの5年間)中の1年目、センターが5回目の受託契約(5年間)中の4年目となりました。

令和7年度は、サービス業等民間ビジネスのノウハウを持つ新社長のもと、社員一同が気持ちを新たに「平尾台自然の郷」の管理運営に取り組みました。

4月の平尾台トレイルランニング2025を皮切りに、GW期間中の目玉イベントとして旧スペースワールドキャラクターの「ラッキーヴィッキーショー」やふれあい動物園等で大変賑わいました。7月から10月中旬の土曜・日曜の利用時間を延長した「早朝・夕暮れドッグラン」を実施し、涼しい夏の高原をアピールするとともに、暑さで利用が少なくなる平尾台アスレに夏休み特別割引（大人子ども一律300円）を実施するなど、利用者サービスの向上に取り組んでまいりました。

また、暑さ対策として、子どもに人気の滑り台ミニプールと回転シャワーをせせらぎ周辺に設置するとともに、日陰施設の増設、ミストシャワーの増設もしております。

新たな客層の開拓として、「平尾台トウクトック周遊ガイドツアー」と「鍾乳洞探検 不動洞ケイビング」の開始、10月の土日4日間夜限定でペット（犬）も一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」、有名芸能人との共催で行ったキャンプイベントや人気ユーチューバーのキャンピングカーイベントの開催などにより、令和7年度は昨年度に比べ入園者数、売上高ともに増加しました。

一方で、遊具の新設等ハード的な投資を抑え、ソフト面を工夫し新たな事業を開始するとともに、草刈り等の業務委託の一部内製化や各種契約内容の見直し、閑散期のパート社員配置の効率化等により支出の削減に努めたことにより、令和7年度の決算は、3期ぶりの黒字となりました。

イ 事業の成果

(ア) 入園・入館者数

① ソラランド

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入園者数	211,652人	258,566人	234,663人	243,356人

令和7年度の入園者数は243,356人で、令和6年度と比較すると、8,693人増(3.7%増)となりました。

上半期は、週末や集客イベント時の天候不順や悪天候、大雨による臨時休園、熱中症警戒アラートの発令などにより、想定よりも入園者数が伸びなかったものの、下半期は10月の土日4日間夜限定でペット（犬）も一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」を開催し新たな客層を集客したこと、例年行っていた初日の出会、駅伝大会、野焼き、クロスカントリーなど平尾台ならではのロケーションを活かしたイベント等のブラッシュアップやSNSなどの情報発信に注力し広範囲から入園者を呼び込んだことなど、社員一丸となり創意工夫した結果、昨年を上回る入園者数を獲得したことは、今期の集客につながるものと考えます。

② センター

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入館者数	22,212人	11,624人	0人	34,523人

※令和5年9月から令和7年4月までリニューアル工事のため休館

令和5年9月から開始した福岡県が行う施設や展示品のリニューアル工事による約1年半の休館を経て、令和7年5月17日にリニューアルオープンしました。おかげさまで新しくなった館内は、展示を見学された方からの感想や来館者アンケートの結果でもご好評いただいております。リニューアルの効果とテレビ・新聞等メディア取材の効果もあり、令和7年度の入館者数は34,523人となり、リニューアル前の令和4年度と比較して12,311人の大幅な増加となりました。

(イ) 売上高（ソラランド＋センター）

（単位：千円。税抜）

区 分		令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)
ソラランド	指定管理受託収入（市）	143,203	144,100	148,944	166,222
	事業収入	48,776	54,293	45,070	45,529
	市指定管理事業収入	26,634	18,885	16,180	15,303
	自主事業収入	22,142	35,408	28,890	30,226
	小 計	191,979	198,393	194,014	211,751
センター	指定管理受託収入（県）	24,545	24,545	25,707	26,333
	その他収入	132	139	20	221
	小 計	24,677	24,684	25,727	26,554
合 計		216,656	223,077	219,741	238,305
前年度との比較（千円）		11,248	6,421	▲3,336	18,564

令和 7 年度の売上高の合計は 238,305 千円で、令和 6 年度よりも 18,564 千円の増となりました。

主な要因は、ソラランドの指定管理受託収入が 17,278 千円増となったこと、駐車場料金等市指定事業収入は減少したものの、イベント等自主事業収入が増加したことによります。

具体的には、地元団体と協同し平尾台ならではの食のイベント「新米まつり」を 9 月に実施し地元農家の新米を目当てにした広域からの集客を図ったこと、10 月にはペット（犬）も一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」で新たな客層を開拓したこと、繁忙期にしか利用しない遊休地である臨時駐車場を活用して、キャンピングカーイベントを開催し利用料を徴収し収入増に努めたことなどによります。

今後も多彩な自主事業を実施し売上高の増加に努めてまいります。

(ウ) 委託事業の売上状況

（単位：千円。税込）

区 分	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	備 考
山のとらや			15,636	19,595	レストラン R6 年 4 月オープン
平尾台テラス	8,671	15,947	13,162	13,493	ドッグラン、RV パーク、カフェ R4 年 9 月オープン
合計	52,049	53,393	28,798	33,088	

来園者のニーズに的確に対応するとともに、経費の削減と効率的な運営を行うため、ドッグランと RV パークを「平尾台テラス」に、カフェ＆レストランを「山のとらや」に委託しています。専門的なノウハウを持った協力事業者が運営することで、経営の安定化とサービスの向上を図っています。

令和 7 年度の売上額は、山のとらやが 19,595 千円で前年度比 3,959 千円増、平尾台テラスが 13,493 千円で前年度比 331 千円増と好調な売り上げとなり入園者増にも寄与しています。

(2) 主な実施事業

ア ソラランド

(ア) 新たな取組み

- ・施設整備（日陰施設の増設、みやこ町寄贈の木材の活用、トゥクトゥクの導入）
- ・利用者サービスの向上
（飲食・物販部門の強化、北九州ネイチャーポジティブセンター、手作りイベントの強化）
- ・観光振興（日帰りツアーの企画・実施、スタンプラリーの実施、インバウンド集客）
- ・地域との協働（みやこ町と「地域資源活用に関する包括連携協定」を締結）

(イ) 例年の取組み

- ・PR（インターネット等の活用、アウトリーチ活動）
- ・利用者サービスの向上（バッテリーカー）
- ・イベント
（ガイド事業・講座、ボランティアの拡充、スポーツ大会、音楽、天体観測、地域との協働、学校教育との連携、菜園・果樹園の活用）
- ・SDGs学習プログラム
- ・西日本旅行ネットワークの会
- ・キャンプ場
- ・植栽管理

イ センター

(ア) 新たな取組み

- ・リニューアルオープン
- ・PR
- ・イベント申込方法の充実
- ・販売品の強化

(イ) 例年の取組み

- ・PR
- ・フィールドイベント
- ・フィールド巡視
- ・ガイド
- ・自然保護意識の醸成
- ・人材育成（社員教育、ボランティアの育成）
- ・フィールド・各駐車場の設備
- ・植物保護・研究活動への協力

(3) 設備投資などの状況(令和7年度の主なもの)

(単位: 千円。税抜)

主 な 設 備		員数	金額
建物等の整備	キャンプ場炊事棟分電盤取替工事	一式	396
	食工房前石窯解体工事	一式	325
	レストランエアコン更新工事	一式	270
	せせらぎ水漏れ補修工事	一式	266
器具修繕等	きたぼっぽガスボンベ交換	4本	158
	きたぼっぽカーテン交換	一式	420
	遊具塗装工事	一式	270
その他	女子トイレ内ベビーシート取替工事	一式	207
	日除け増設	5基	107
計			2,419

(4) 今後の課題

ソラランドの主要な利用者である「子どものいる世帯」の人口減少が見込まれる中、新たな利用者を開拓する必要があります。

そのため、従来からの取組みに加え、平尾台テラスによるペット連れ来園者の増加、レストラン山のとらやの利用増加、SNSを活用した広域集客への取り組み強化などにより、新たな利用者層獲得の兆しが見えてきました。

一方で、近隣自治体では家族向け施設の開園・リニューアルが相次いでおり当施設への子ども連れ家族入園者数は着実に減少していると考えます。

今後も変化する時代のニーズに対応した持続可能な施設運営が重要と考えます。

センターについては、令和7年5月17日にリニューアルオープンし入館者も増加傾向にあります。令和8年度は県からの指定管理も最終年度となります。次期指定管理業務の受託を意識しつつ、効率的で安定した管理運営により、今後も平尾台のランドマークとして入館者に親しまれる施設を目指していきます。

ア 令和8年度の実施計画

(ア) ソラランドについて

令和8年度は、公園の枠組みだけでなく、観光地としても確立し新たな客層となる車で旅をする広域からの観光客の呼び込みに力を入れたいと考えます。

また、ペット入園エリアを広げて近隣のペット連れの方の憩いの場として、ペット連れの車で旅をする人たちの立ち寄り場所として確立したいと考えます。

この取り組みはペット愛好家の集客というよりも昨今はペットも家族の一員という時代のニーズに合わせた公園づくりを目指すものです。

公園内で人とペットが共存できるようにしっかりと運営し、ペットの啓発イベントの開催などマナー向上にも努めてまいります。

また、有効活用されていない音楽堂を活用した音楽のイベントを定期的に行い、アマチュア音楽家の活動の機会を提供するなど大規模な音楽イベントも開催したいと考えています。

さらに、投資コストに見合った園内遊具の新設と設備の改善や機材の購入等、園内の整備・美化等による利用者サービスの向上を積極的に行うとともに、あらゆる機会を利用した収入の増加と経営の効率化による支出の削減を図ることで、令和8年度も黒字を目指します。

主な取り組みは以下のとおりで、令和8年度の集客数は275,100人を目標とします。

① 新たな取り組み

- ・施設整備（休憩スペース等の充実、ショップ・ファストフード移転）
- ・利用者サービスの向上
（ペット(犬)エリアの実証実験、トウクトウガイドツアーの強化、野焼きガイドツアーの実施、工房の効率化（統合）、飲食・物販部門等の強化、イベントの強化、ワークショップの強化、キャンプ場）
- ・社会貢献（平尾台マルシェの開催）

② 例年の取り組み

- ・PR（インターネット等の活用、アウトリーチ活動）
- ・利用者サービスの向上（バッテリーカー、日陰施設の充実）
- ・イベント
（ガイド事業・講座、ボランティアの拡充、スポーツ大会、音楽、天体観測、地域との協働、学校教育との連携、菜園の活用）
- ・自然ガイドツアー
- ・西日本旅行ネットワークの会
- ・植栽管理

（イ）センターについて

リニューアルしたセンターでは新たな展示物の知識習得や来館者への丁寧な接客を心掛け、これまで以上に平尾台の雄大な自然の素晴らしさを楽しんでいただくとともに、自然保護意識の醸成・啓発・指導を行っていきます。

令和8年度の主な事業計画は、以下のとおりで、集客数は37,000人を目標とします。

① 新たな取り組み

- ・指定管理者受託
- ・イベントの充実と強化
- ・ホームページの刷新
- ・ボランティア活動指針見直し

② 例年の取り組み

- ・PR
- ・イベント（登山、観察会、洞窟探検）
- ・パトロール等（フィールド巡視と異常管理）
- ・ガイド
- ・自然保護意識の醸成
- ・人材育成（社員教育、ボランティアの育成）
- ・フィールド・各駐車場の整備
- ・自然保護・研究活動への協力

(5) 資金調達の状況 特記事項はありません。

(6) 企業結合の状況 子会社等はありません。

(7) 主な借入先 該当事項はありません。

(8) 営業成績及び財産の状況の推移

期 別 区 分	R 5 / 3 (第 2 7 期)	R 6 / 3 (第 2 8 期)	R 7 / 3 (第 2 9 期)	R 8 / 3 (第 3 0 期)
売上高 (千円)	216,656	223,077	219,741	238,305
経常利益 (千円)	1,448	▲7,273	▲13,652	2,186
当期純利益 (千円)	1,546	▲7,437	▲14,005	1,857
1 株当たり当期純利益	63 円 57 銭	▲305 円 82 銭	▲575 円 86 銭	76 円 39 銭
純資産 (千円)	259,070	250,416	235,195	236,445
総資産 (千円)	272,508	263,468	255,699	258,680

【注】1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づいて算出しています。

2 会社の概況 (令和8年3月31日現在)

(1) 主要な事業内容 (定款記載の主な事業内容)

- ・遊園地及びテーマパークの経営
- ・宿泊施設、観光果樹園等の観光関連施設の経営
- ・イベントの企画及び運営に関する事業
- ・旅行業法に基づく旅行業
- ・飲料品・食料品（畜産食料品を含む。）の加工及び製造並びに販売
- ・書籍、衣料品、日用雑貨品、工芸品、民芸品の販売
- ・キャンプ用品、スポーツ用品の販売及びレンタル事業
- ・医薬品、医薬部外品の販売
- ・動植物の販売
- ・公共施設の運営、維持管理(除雪作業、清掃作業、草刈作業等)に関する受託事業
- ・平尾台及びその周辺地域の環境保全、整備に関する事業
- ・自然環境の保全、整備に関するコンサルティング事業

(2) 主な事業所

名 称：本社

所在地：北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号

(3) 株式の状況

ア 会社が発行する株式の総数 80,000株

イ 発行済株式の総数 24,320株
ウ 当期末株主数 27名
エ 株主の状況

株 主 名	所有株式数 (株)	出資比率 (%)	当社の該当株 主 の出資状況
北九州市	5,880	24.18	-
UBE 三菱セメント株式会社	4,200	17.27	なし
株式会社 ユアーズ	3,080	12.66	なし
三菱重工機械システム株式会社	2,800	11.51	なし
株式会社井筒屋	1,400	5.76	なし
株式会社ピーエス・コンストラクション	1,400	5.76	なし
株式会社西日本シティ銀行	1,000	4.11	なし
住友大阪セメント株式会社	940	3.86	なし
三井住友建設株式会社	840	3.45	なし
株式会社太平設計	360	1.48	なし
株式会社にしけい	280	1.15	なし
株式会社マテリアル九州	180	0.74	なし
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	180	0.74	なし
株式会社クラフティア	180	0.74	なし
株式会社三井住友銀行	180	0.74	なし
西華産業株式会社	180	0.74	なし
株式会社みずほ銀行	180	0.74	なし
株式会社乃村工藝社	180	0.74	なし
株式会社三菱UFJ銀行	180	0.74	なし
三菱UFJ信託銀行株式会社	180	0.74	なし
株式会社福山コンサルタント	160	0.66	なし
西日本不動産開発株式会社	60	0.25	なし
明治安田生命保険相互会社	60	0.25	なし
関 宣昭	60	0.25	なし
東京海上日動火災保険株式会社	60	0.25	なし
ニシラク乳業株式会社	60	0.25	なし
九州カード株式会社	60	0.25	なし
計	24,320 株	100%	

(4)会社役員に関する事項

会社における地位	氏 名	経 歴 等 (※就任時)
代 表 取 締 役	吉 本 圭 介	社長肩書
取 締 役	小 野 勝 也	北九州市都市戦略局長
取 締 役	日々谷 健 司	北九州市小倉南区長
取 締 役	三 善 顕	UBE 三菱セメント(株)九州工場事務部長
取 締 役	根 石 紀 雄	(株)ユアーズ 代表取締役社長
取 締 役	木 村 徹 哉	住友大阪セメント(株)小倉事業所 副所長兼業務グループリーダー
取 締 役	壹岐尾 恵 美	Hug 平尾台プロジェクト代表 (株)かいこ代表取締役
取 締 役	加茂野 秀 一	前社長
監 査 役	岩 男 英 徳	(株)西日本シティ銀行 北九州総本部 取締役 常務執行役員 北九州総本部長

・当期中の取締役の異動

ア 辞任

令和7年6月25日の定時株主総会において、取締役の井上保之氏、上村周二氏、監査役の糸永卓見氏が退任いたしました。

イ 就任

令和7年6月25日の定時株主総会において、取締役に吉本圭介氏、小野勝也氏、日々谷健司氏が選任され就任いたしました。

(5)社員の状況

令和8年3月31日現在

住所地	男性			女性			計
	正社員	嘱託社員	パート社員	正社員	嘱託社員	パート社員	
小倉南区	5	2	7	4	1	5	24
うち地元(東谷地区)	0	1	3	2	0	2	8
北九州市内	2	0	2	1	0	0	5
福岡県内	1	1	3	0	1	3	9
県 外	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8	3	12	5	2	8	38

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 145,473,295】	【流 動 負 債】	【 16,985,808】
現 金 及 び 預 金	121,104,884	買 掛 金	65,898
売 掛 金	17,775,794	未 払 金	1,547,181
商 品	1,084,657	未 払 費 用	6,324,708
食 材 品	125,393	前 受 金	2,310,000
貯 蔵 品	267,214	預 り 金	101,121
焼 酎	1,682,910	未 払 法 人 税 等	328,500
前 払 費 用	179,306	未 払 消 費 税	6,308,400
立 替 金	53,137	【引 当 金】	【 5,248,867】
保 証 金	3,200,000	賞 与 引 当 金	5,248,867
【固 定 資 産】	【 113,206,972】		
(有 形 固 定 資 産)	(112,915,772)	負 債 の 部 合 計	22,234,675
建 物	4,446,743	純 資 産 の 部	
建 物 付 属 設 備	3,955,925	【株 主 資 本】	【 236,445,592】
構 築 物	43,610,906	(資 本 金)	(91,200,000)
車 輛 運 搬 具	8	資 本 金	91,200,000
工 具 器 具 備 品	6,423,484	(資 本 剰 余 金)	(73,837,619)
一 括 償 却 資 産	651,302	資 本 準 備 金	22,800,000
土 地	53,827,404	そ の 他 資 本 剰 余 金	51,037,619
(無 形 固 定 資 産)	(291,200)	(利 益 剰 余 金)	(71,407,973)
電 話 加 入 権	291,200	繰 越 利 益 剰 余 金	71,407,973
		純 資 産 の 部 合 計	236,445,592
資 産 の 部 合 計	258,680,267	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	258,680,267

損 益 計 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		円
売 上 高	238,305,743	238,305,743
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	6,017,967	
当期製品製造原価	8,122,479	
合 計	(14,140,446)	
期 末 棚 卸 高	4,681,411	9,459,035
売 上 総 利 益		(228,846,708)
【販売費及び一般管理費】		220,056,922
営 業 利 益		(8,789,786)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	373	
雑 収 入	470,586	470,959
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	7,074,215	7,074,215
経 常 利 益		(2,186,530)
税引前当期純利益		(2,186,530)
法人税、住民税及び事業税		328,555
当 期 純 利 益		(1,857,975)